

第2回軽石問題緊急対策会議

日時 令和3年11月8日(月)

15:15～15:45

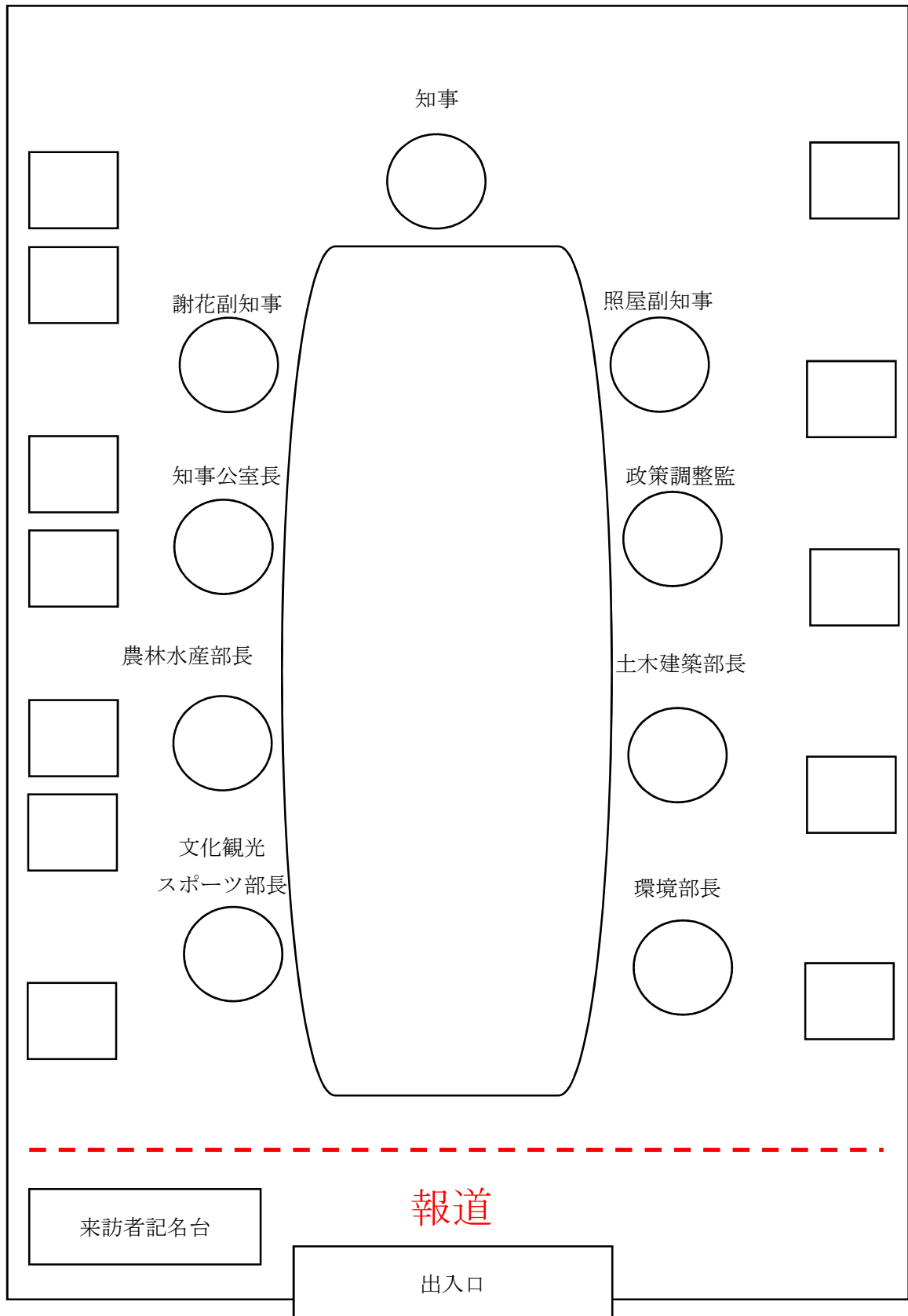
場所 6階第1特別会議室

次 第

- 1 知事あいさつ
- 2 漂着等の状況
(1) 概要(環境部)
- 3 対応状況
(1) 各所管の状況(環境部、農林水産部、土木建築部、文化
観光スポーツ部)
- 4 今後の方針について(各部局)
- 5 その他

6階第1特別会議室レイアウト

※取材される報道関係者は、破線の外側から撮影いただくようお願いします。



第二回軽石問題緊急対策会議

令和3年11月8日

所管部局：環境部

件名	軽石大量漂流・漂着問題への対応について
内容	<p>【経緯・現状】 10月28日より関係課の班長レベルのワーキングチーム会議を毎日開催し、情報共有しながら対策に取り組んでいる。</p> <p>【内 容】</p> <p>1 漂着状況及び対策状況</p> <p>(1) 環境部関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漂着が確認された市町村数（市町村報告） →22市町村（10/26時点）から27市町村※（11/5時点）に増加 ※新たに確認された市町村：①那覇市、②宜野湾市、③浦添市、④座間味村、⑤渡名喜村 <p>(2) 農林水産部関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港への漂着：当初は29漁港 11/5時点で22漁港（うち漁業活動に支障が生じているのは8漁港※） ※県管理：①辺土名、②安田、③海野（南城市） 市町村管理：①仲尾次（名護市）、②久高（南城市）、③新里（本部町）、④運天、⑤田名（伊平屋村） ・ 安田漁港の撤去に着手（11/3）。 ・ 水産業への影響として、北部、中南部で漁船の損傷、漁業活動の自粛※、養殖魚介類・畜養魚のへい死、モズク・アーサ養殖への影響が発生している。 ※エンジントラブル：100隻、出漁自粛：1,206隻（40%）（11/2時点） <p>(3) 土木建築部関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾への漂着（11/1時点で県管理12港湾） 11/6時点で県管理14港湾及び那覇港の計15港湾（うち運航に支障が生じているのは6港湾※） ※①仲田港（伊是名村）、②内花港（伊是名村）、③徳仁港（南城市）、④運天港（今帰仁村）、⑤水納港（本部町）、⑥渡嘉敷港（渡嘉敷村） ・ 運天港（今帰仁村）への軽石漂着の影響で、伊是名・伊平屋と本島（運天港）を結ぶフェリーについて、欠航や入港先を本部港に変更するなどの影響が生じている（11/6_NHK報道より）。 <p>(4) 文化観光スポーツ部関係（11/1時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダイビング（62件以上、132人以上）、宿泊施設（1施設）でキャンセル等の被害が発生。その他遊泳制限、修学旅行の日程変更等 <p>2 国庫補助事業の検討</p> <p>(1) 海岸漂着物対策補助金（環境省）（11/5時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境省の留保予算の中から沖縄県へ追加配分をいただけるよう調整中。土木建築部、農林水産部、恩納村に配分予定。 ・ そのほか国の補正予算について環境省と調整中。 <p>(2) 災害復旧事業（農水省・国交省）</p> <p>ア 漁港 新里漁港、運天漁港、久高漁港※について、市町村が</p>

ら要望があれば速やかに水産庁と協議を行う。

※久高漁港については、11月4日時点で南城市から災害復旧工事の応急工事
要望が県に提出され、水産庁と調整を行っているところ。

イ港湾 10港湾について災害速報を国土交通省へ提出済み。

3 今後の対応等

- (1) 漁港、港湾の泊地・航路について災害復旧事業で回収・処理を進める。
- (2) 災害復旧事業で対応できない海岸は、環境省補助金で回収・処理を進める。
- (3) 観光：OCVB コーポレートサイトで情報発信

4 その他

第11管区海上保安本部によると沖縄本島周辺海域及び沖縄本島から宮古島の間海域で軽石漂流が確認されており、宮古地域への漂着の可能性が生じた場合は同保安本部から情報提供されることとなっている。

第2回軽石問題緊急対策会議（仮称）資料

所管部局：農林水産部

件名	軽石漂着に係る農林水産部の対応について
内容	<p>【経緯・現状】</p> <p>1. 漁港施設関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺土名漁港の工事（10月29日着手）について大部分の軽石の撤去を行ったことから、11月3日より安田漁港の撤去作業を開始。 ※辺土名漁港では港口に防止膜を設置しているが、膜を超えて流入する軽石があることから当面は状況を確認しながら対応していく。 <p>2. 水産関連(11月2日時点:別紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の登録漁船のうち約40%（1,206隻）が出漁を自粛するとともに、軽石を原因とするエンジントラブルが、100隻発生。 ・ 養殖及び畜養魚の斃死についてはスギ15尾、グルクマ約500尾を確認。 ※新聞報道等取り上げられている久米水産（うるま市）のスギ斃死については、現在、軽石との因果関係について確認中 ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> ※モズク養殖については、養殖網を海へ張り出す作業を行う時期となっているが、エンジントラブルの恐れがあることから、船が出せず作業を行えない状況であり、今期のモズク生産への影響が懸念される。 ※ヒトエグサ（アーサ）養殖については、海へ張り出した養殖網が堆積した軽石で埋まっている地域があるため、今期の生産への影響が懸念される。 ※ソデイカ漁が12月に解禁されるが、軽石の漂流状況によっては、漁に出られない可能性があり、今期の漁獲量への影響が懸念される。 <p>3. 海岸関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県管理の農地海岸保全区域（農林水産省所管）において、35海岸（北部28海岸、中部3海岸、南部4海岸（県全体72海岸））に軽石が多量から少量、漂着（R3.11.5付）。 <p>【課題】</p> <p>1. 漁港施設関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽石の処分先は、近隣の処分場への搬入を予定しているが、処分量が膨大のため処分方法や利活用の検討が必要となるが、塩分濃度や成分分析等の確認など全庁的な取り組みが必要。 ・ 漁港内への侵入防止対策等、今後は地元漁協の協力を得る必要があり、協力体制の構築が必要。 <p>2. 海岸関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砂浜や沿岸が灰褐色を帯び、景観の悪化や自然環境への影響が懸念。 ・ 漂着軽石の処理は、海岸漂着物等地域対策推進事業（環境省所管）の活用を検討しているが、漂着した軽石の掘削・運搬・処理に係る費用が大きく予算の確保が厳しい状況。 ・ 海上に漂流している軽石の漂着が繰り返される可能性があることから、除去の時期や回数等について判断が必要。

【県の対応等】**1. 漁港施設関連**

- ・ 県管理漁港について、漁船の航行等の支障など状況を踏まえながら、引き続き、災害復旧事業を適用を要望し、応急対策工事を実施する。
- ・ 軽石の漁港内への侵入防止施設の整備について、県で応急的に対応し、今後国へ要望する。

2. 水産関連

- ・ 漁船漁業や養殖業等の漁業被害の情報収集の継続
- ・ 軽石漂流の最新情報の収集及び漁業関係者への情報提供
- ・ 漁船の損傷、操業自粛等への対応を検討

3. 海岸関連

- ・ 海岸を所管している関係部局及び環境部等と連携し、軽石の除去手法や予算確保について検討する。

軽石問題に係る被害及び対応状況 【文化観光スポーツ部】

項目	内容
1. 被害情報 及び影響	<p>(1) 物的被害 船舶 伊平屋・伊是名間の渡船で軽石による故障報告あり(件数不明)</p> <p>(2) キャンセル等 ダイビング 73 件以上 181 人以上 回答42社中 宿泊施設 2 施設 回答20社中</p> <p>(3) 船舶欠航等(軽石の影響により欠航があった路線) (久高島)徳仁港－安座真港:フェリー、高速船 (伊是名島)仲田港－運天港:フェリー 内花港－前泊港:渡船 (伊平屋島)前泊港－運天港:フェリー (水納島)水納港－渡久地港</p> <p>(4) その他(影響及び不安の声) 遊泳制限・マリンレジャー提供中止7件(伊江村、本部町、恩納村、今帰仁村) 釣り船運航中止2件(伊是名村、恩納村) グラスボートツアーキャンセル9件(ブセナ海中公園) フォトウェディングの撮影場所変更、修学旅行の日程変更、ダイビングポイント変更 軽石の粉塵化による白砂との一体化(景観変化) マリン事業の経営支援や軽石除去・清掃費用の要望あり</p>
2. (1に対する) 現在の取組状況 及び課題など	<p>(1) おきなわ物語(沖縄観光情報WEBサイト)、OCVBコーポレートサイトで情報発信 ①離島航路船舶運航状況 ②軽石の漂流情報(第十一管区海上保安本部HPリンク)</p> <p>(2) キャンセル等の被害情報及び影響に係る継続的な情報収集 ①地域観光協会(44団体) ②マリン事業者(380社) ③ホテル事業者(27社、修学旅行関連、ビーチ隣接宿泊施設)</p> <p>(3) 自然海岸の軽石撤去に係るエリア優先順位付けのためのビーチ管理者からの情報収集 ①海水浴場事業者リストアップ(66事業者)</p>
3. 当面の対応方針	<p>(1) 情報収集の継続 ①離島航路の船舶運航状況 ②事業者における被害状況及び影響</p> <p>(2) 収集した情報の発信 上記2(1)の情報に加え、遊泳制限等の情報の発信を検討</p> <p>(3) 土木建築部、環境部と連携したビーチからの軽石撤去方法及びエリア優先順位の検討 ワーキング会議(毎日)における情報収集及び共有</p>

県内の軽石漂流・漂着状況について

【主な海岸における軽石漂着状況等】（市町村報告）

11月6日時点

	市町村名	漂着有無	確認海岸数
1	那覇市	○	1
2	宜野湾市	○	1
3	石垣市	×	—
4	浦添市	○	調査中
5	名護市	○	5
6	糸満市	○	4
7	沖縄市	×	—
8	豊見城市	○	1
9	うるま市	○	9
10	宮古島市	×	—
11	南城市	○	2
12	国頭村	○	22
13	大宜味村	○	10
14	東村	○	2
15	今帰仁村	○	26
16	本部町	○	1
17	恩納村	○	調査中
18	宜野座村	○	1
19	金武町	○	2
20	伊江村	○	6
21	読谷村	○	2
22	嘉手納町	×	—
23	北谷町	×	—
24	北中城村	×	—
25	中城村	○	調査中
26	西原町	○	1
27	与那原町	○	1
28	南風原町	—	—
29	渡嘉敷村	○	2
30	座間味村	○	調査中
31	粟国村	○	2
32	渡名喜村	○	調査中
33	南大東村	×	—
34	北大東村	×	—
35	伊平屋村	○	10
36	伊是名村	○	3
37	久米島町	○	2
38	八重瀬町	○	2
39	多良間村	×	—
40	竹富町	×	—
41	与那国町	×	—
	計	29	118

※市町村による海岸数の計数方法は海岸管理者のそれとは必ずしも一致しない

※南風原町の網掛けは海岸を有していないため。

主な海岸に係る漂着状況について(令和3年11月6日時点)

※南風原町除く

番号	市町村名	漂着海岸及び漂着状況 (土):土木建築部所管、(農):農林水産部所管、(一):一般公共海岸 漂着状況 多:◎、小:○
1	那覇市	(那覇港)那覇港海岸若狭(○)
2	宜野湾市	
3	石垣市	
4	浦添市	
5	名護市	(土)源河後原海岸(◎)、(土・農)済井出海岸(◎)、(土・農)稲嶺海岸(◎)、 (土)真喜屋海岸(◎)、(土)屋我地海岸(◎)、(土)運天港海岸(◎)、 (一)源河海岸(◎)、(農)久志海岸(○)
6	糸満市	
7	沖縄市	
8	豊見城市	
9	うるま市	(土)金武湾港海岸与那城照間～赤野(○)、 (農)津堅海岸(○)、(農)伊計海岸(○)、(農)照間海岸(○)、
10	宮古島市	
11	南城市	(農)佐敷海岸(◎)、(農)知念海岸(○)、(農)百名海岸(○)、 (農)志堅原海岸(○)、(土)中城湾港海岸知念安座間(○)、(土)徳仁港海岸(○)
12	国頭村	(農)安波海岸(◎)、(土)伊地海岸(◎)、(土)奥港海岸(◎)、(一)奥～伊地海岸(◎)、 (農)奥世波原海岸(◎)、(農)辺戸海岸(◎)、(土・農)辺土名海岸(◎)、 (土)浜海岸(◎)、(土)安田海岸(○)
13	大宜味村	(土)饒波海岸(◎)、(土)津波海岸(◎)(土)根路銘・塩屋海岸(◎)、 (土)根路銘大兼久海岸(◎)、(土)塩屋港海岸(○)、(一)喜如嘉(◎)、 (一)宮城(◎)、(一)津波海岸(◎)
14	東村	(農)慶佐次海岸(○)
15	今帰仁村	(農)運天海岸(◎)、(農)諸志海岸(◎)、(農)今帰仁海岸(◎)、 (農)崎山海岸(◎)、(農)親泊海岸(◎)、(農)古宇利海岸(○)、(一)渡喜仁海岸(○)
16	本部町	(農)具志堅海岸(◎)、(農)備瀬海岸(◎)、(土)浜元～備瀬海岸(○)、 (一)瀬底海岸(○)、(土)水納港海岸(○)
17	恩納村	(農)安富祖海岸(○)、(農)瀬良垣海岸(○)、(一)真栄田海岸(○)
18	宜野座村	(農)宜野座海岸(○)、(一)松田海岸(○)
19	金武町	(土)金武湾港海岸金武(○)
20	伊江村	(土)東江前海岸(◎)、(農)西崎海岸(○)
21	読谷村	(土)長浜海岸(○)
22	嘉手納町	(土)兼久海岸(○)
23	北谷町	
24	北中城村	
25	中城村	
26	西原町	(土)中城湾港西原与那原地区(西原キラキラビーチ)(○)
27	与那原町	
28	渡嘉敷村	
29	座間味村	(一)座間味島()、(一)慶留間・外地島()、(一)阿嘉島() (座間味村)、漂着状況、海岸数調査中

主な海岸に係る漂着状況について(令和3年11月6日時点)

※南風原町除く

番号	市町村名	漂着海岸及び漂着状況 (土):土木建築部所管、(農):農林水産部所管、(一):一般公共海岸 漂着状況 多:◎、小:○
30	粟国村	
31	渡名喜村	(土)東海岸(○)、(一)安在良(○)
32	南大東村	
33	北大東村	
34	伊平屋村	(土)前泊海岸(◎)、(農)前泊海岸(○)、(土)島尻海岸(◎)、(農)島尻海岸(○)、 (農)西島尻海岸(◎)
35	伊是名村	(土)仲田港海岸(◎)、(農)内花海岸(◎)、(農)屋下海岸(○)、 (農)勢理客海岸(○)、(農)伊是名海岸(○)
36	久米島町	
37	八重瀬町	
38	多良間村	
39	竹富町	
40	与那国町	

※現時点で漂着量が少量の海岸や未調査の箇所は含まれていません。

※このほかの海岸にも漂着している可能性があります。

【港湾における軽石漂着状況一覧表】

◎	大量に漂着有(漁業、離島航路等に支障有り)
○	少量漂着有り(漁業、離島航路等に支障なし)
-	漂着無し(漂着情報無し含む)

11月6日時点

No	管理者	港湾名	所在地	軽石漂着状況 R3.11.6時点	対応状況
1	沖縄県	運天	名護市、今帰仁村	◎	11/6より現場着手
2	沖縄県	金武湾	宜野座村、金武町、うるま市	○	
3	沖縄県	中城湾	うるま市、沖縄市、北中城村、中城村、西原町、南城市、与那原町	○	
4	沖縄県	前泊	伊平屋村	◎	対応準備中
5	沖縄県	野甫	伊平屋村	◎	対応準備中
6	沖縄県	仲田	伊是名村	◎	村による除去作業を継続中
7	沖縄県	内花	伊是名村	◎	村による除去作業を継続中
8	沖縄県	奥	国頭村	◎	11/1より現場着手
9	沖縄県	塩屋	大宜味村	○	
10	沖縄県	古宇利	今帰仁村	◎	対応準備中
11	沖縄県	伊江	伊江村	-	
12	沖縄県	水納(本部)	本部町	○	
13	沖縄県	本部	本部町	-	
14	沖縄県	宜野湾	宜野湾市	-	
15	沖縄県	徳仁	南城市	◎	10/30より現場着手
16	沖縄県	兼城	久米島町	○	
17	沖縄県	粟国	粟国村	-	
18	沖縄県	渡嘉敷	渡嘉敷村	◎	村による除去作業を継続中
19	沖縄県	座間味	座間味村	-	
20	沖縄県	慶留間	座間味村	-	
21	沖縄県	北大東	北大東村	-	
22	沖縄県	南大東	南大東村	-	
23	沖縄県	来間・前浜	宮古島市	-	
24	沖縄県	長山	宮古島市	-	
25	沖縄県	多良間	多良間村	-	
26	沖縄県	水納(多良間)	多良間村	-	
27	沖縄県	竹富東	竹富町	-	
28	沖縄県	小浜	竹富町	-	
29	沖縄県	黒島	竹富町	-	
30	沖縄県	上地	竹富町	-	
31	沖縄県	鳩間	竹富町	-	
32	沖縄県	船浦	竹富町	-	
33	沖縄県	租納	竹富町	-	
34	沖縄県	白浜	竹富町	-	
35	沖縄県	仲間	竹富町	-	
36	沖縄県	祖納	与那国町	-	
37	沖縄県	安護の浦	座間味村	-	
38	沖縄県	船浮	竹富町	-	

39	那覇港 管理組合	那覇	那覇市、浦添市	○	
40	宮古島市	平良	宮古島市	-	
41	石垣市	石垣	石垣市	-	

集計	港湾数	41
	◎	9
	○	6
	-	26

【漁港における漂着状況一覧表】

◎	大量に漂着有(漁業活動に支障有り)
○	少量漂着有(漁業活動に支障なし)
×	漂着無し

令和3年11月8日時点

	地域	漁港名	管理者	所在地	R3.11.8	備考
県 管 理	北部	辺土名	沖縄県	国頭村	◎	オイルフェンス設置・応急工事中
	北部	名護	沖縄県	名護市	×	オイルフェンス設置
	北部	宜名真	沖縄県	国頭村	×	
	北部	安田	沖縄県	国頭村	◎	オイルフェンス設置・応急工事中
	中部	嘉手納	沖縄県	嘉手納町	×	
	中部	都屋	沖縄県	読谷村	×	
	中部	泡瀬	沖縄県	沖縄市	○	
	中部	平敷屋	沖縄県	うるま市	○	
	中部	宜野湾	沖縄県	宜野湾市	×	
	南部	渡名喜	沖縄県	渡名喜村	○	
	南部	港川	沖縄県	八重瀬町	◎	
	南部	阿嘉	沖縄県	座間味村	×	
	南部	粟国	沖縄県	粟国村	×	
	南部	泊	沖縄県	那覇市	×	
	南部	海野	沖縄県	南城市	◎	
	南部	糸満	沖縄県	糸満市	×	
	南部	仲里 (真謝・銭田・真泊・泊)	沖縄県	久米島町	×	
	南部	当添	沖縄県	与那原町	×	
	南部	南大東 (南大東、北大東)	沖縄県	南大東村 北大東村	×	
	宮古	博愛 (宮国・友利)	沖縄県	宮古島市	×	
	宮古	佐和田	沖縄県	宮古島市	×	
	宮古	荷川取	沖縄県	宮古島市	×	
	宮古	佐良浜	沖縄県	宮古島市	×	
	宮古	池間	沖縄県	宮古島市	×	
	八重山	石垣	沖縄県	石垣市	×	
	八重山	波照間	沖縄県	竹富町	×	
	八重山	久部良	沖縄県	与那国町	×	
	市 町 村 管 理	北部	東	東村	東村	×
北部		慶佐次	東村	東村	×	
北部		汀間	名護市	名護市	○	
北部		辺野古	名護市	名護市	○	
北部		許田	名護市	名護市	○	
北部		屋我地	名護市	名護市	◎	
北部		仲尾次	名護市	名護市	○	
北部		宜野座	宜野座村	宜野座村	○	
北部		漢那	宜野座村	宜野座村	×	
北部		真栄田	恩納村	恩納村	×	
北部		前兼久	恩納村	恩納村	×	
北部		恩納	恩納村	恩納村	○	
北部		瀬良垣	恩納村	恩納村	◎	
北部		浜崎	本部町	本部町	×	
北部		新里	本部町	本部町	◎	オイルフェンス設置
北部		具志	伊江村	伊江村	○	
北部		西崎	伊江村	伊江村	×	
北部		運天	今帰仁村	今帰仁村	◎	
北部		古宇利	今帰仁村	今帰仁村	×	
北部		塩屋	大宜味村	大宜味村	×	
北部		国頭浜	国頭村	国頭村	◎	
北部		伊是名	伊是名村	伊是名村	×	
北部		伊平屋	伊平屋村	伊平屋村	○	
北部		田名	伊平屋村	伊平屋村	◎	
中部		照間	うるま市	うるま市	○	
中部		池味	うるま市	うるま市	○	
中部		桃原	うるま市	うるま市	×	
中部		浜	うるま市	うるま市	○	
中部		比嘉	うるま市	うるま市	×	
中部		津堅	うるま市	うるま市	○	
中部		南原	うるま市	うるま市	×	
中部		牧港	浦添市	浦添市	○	
中部		浜川	北谷町	北谷町	×	
中部		中城浜	中城村	中城村	○	
南部	志喜屋	南城市	南城市	×		
南部	久高	南城市	南城市	◎		
南部	奥武	南城市	南城市	○		

【漁港における漂着状況一覧表】

◎	大量に漂着有(漁業活動に支障有り)
○	少量漂着有(漁業活動に支障なし)
×	漂着無し

令和3年11月8日時点

地域	漁港名	管理者	所在地	R3.11.8	備考	
市 町 村 管 理	南部	喜屋武	糸満市	糸満市	○	
	南部	与根	豊見城市	豊見城市	×	
	南部	壺川	那覇市	那覇市	×	
	南部	阿波連	渡嘉敷村	渡嘉敷村	×	
	南部	儀間	久米島町	久米島町	○	
	南部	鳥島	久米島町	久米島町	○	
	南部	具志川	久米島町	久米島町	×	
	宮古	狩俣	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	島尻	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	真謝	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	高野	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	浦底	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	保良	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	棚根	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	川満	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	久松	宮古島市	宮古島市	×	
	宮古	前泊	多良間村	多良間村	×	
	宮古	多良間	多良間村	多良間村	×	
	八重山	登野城	石垣市	石垣市	×	
	八重山	船越	石垣市	石垣市	×	
	八重山	伊野田	石垣市	石垣市	×	
	八重山	細崎	竹富町	竹富町	×	
	八重山	西表	竹富町	竹富町	×	

集計	漁港数	87
	◎	11
	○	21
	×	55

軽石漂流・漂着による被害状況及び出漁自粛状況（沖縄県水産課調べ）

3回目調査：令和3年11月2日現在

No.	地域	軽石を原因とする 漁船のエンジントラブル			軽石を原因とする出漁自粛		
		被害隻数	被害程度		漁船 登録隻数	出漁自粛 隻数	自粛割合 (%)
			航行不能	航行可能			
1	北部	56	8	48	718	443	61.7
2	中南部	44	8	36	1,620	763	47.1
3	宮古	0	0	0	375	0	0.0
4	八重山	0	0	0	309	0	0.0
	沖縄県合計	100	16	84	3,022	1,206	39.9

※漁船登録隻数は沖縄農林水産統計年報の2018年（平成30年）の数値を引用した。

※出漁自粛隻数は県内各漁業協同組合（36漁協）への聞き取りにより算出した。

各地域に存在する漁業協同組合

北部	国頭、羽地、今帰仁、本部、伊是名、伊平屋村、伊江、名護、恩納村、宜野座村、金武
中南部	石川、勝連、与那城町、南原、沖縄市、読谷村、北谷町、那覇地区、那覇市沿岸、浦添宜野湾、与那原・西原町、佐敷中城、知念、港川、糸満、久米島、渡名喜村、座間味村、渡嘉敷、沖縄県近海鮪
宮古	宮古島、池間、伊良部
八重山	八重山、与那国町

内閣官房長官	松野 博一	） 殿
内閣府特命担当大臣	西銘 恒三郎	
農林水産大臣	金子 原二郎	
国土交通大臣	斉藤 鉄夫	
環境大臣	山口 壯	
防衛大臣	岸 信夫	

軽石大量漂流・漂着への対応について（要請）

本年8月に発生した小笠原諸島・福徳岡ノ場の海底火山噴火に由来するとみられる軽石が海流によって沖縄周辺に押し寄せ、県内各地の海岸及び漁港等においては、大量に漂流・漂着していることが確認されております。

漁業においては、漁港への軽石の大量流入等が発生し、漁船のエンジントラブルへの懸念から漁に出られない状況が続いており、県内漁業への影響は深刻な状況となっているほか、12月に解禁されるソデイカ漁や冬から初夏にかけて行われるモズク養殖業等、県内漁業全般への今後の影響も懸念されます。

また、港湾においては、離島航路をはじめとする船舶の航行に支障をきたし、人流・物流が滞るなど離島住民等の生活に影響が生じております。

加えて、ビーチ沿いのホテルでは宿泊のキャンセルが発生するなど観光業にも影響が出始めており、県内のマリンレジャーやホテルなどの観光事業者からは先行きを不安視する声が上がっております。漂流・漂着が長期化し広範囲に広がれば、沖縄観光全体のイメージダウンにもつながり、今後の観光需要の回復の足かせになりかねません。

さらに環境面では、海水面に軽石が集まり海中に太陽光が届かなくなることにより餌となる藻類の成長が妨げられ、数ヶ月から長期にわたって軽石が堆積すると、魚類の生息地や餌などに影響を及ぼす可能性があることが指摘されており、加えて、沖縄の貴重な観光資源でもあるサンゴや白い砂浜等自然環境への深刻な影響が懸念されます。

このような状況に対し、影響の長期化を防ぎ、様々な分野において早急かつ継続的に対応していくためには、制度的、財政的な支援が必要となっております。

つきましては、下記のとおり要望いたしますので、御高配を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 港湾・漁港の機能維持のため、港内や航路に漂流している軽石の回収・処

理に関し、早急に災害復旧事業による財政支援を行うこと。また、漂着が継続している間は同一港湾・漁港への複数回の災害復旧事業の適用を認めること。

- 2 港湾・漁港における災害復旧事業の対象とならない軽石の除去及び侵入防止対策並びに港湾・漁港以外の海岸、河川に漂着した軽石の回収・処理に対して補助等の支援策を講じること。
- 3 軽石の漂流・漂着、海岸への堆積、海底への沈降等に起因する様々な影響から水産資源、サンゴ礁の生物、海岸景観、海岸生態系等の自然環境を保全するため、自然環境への影響の調査を実施するとともに、その保全・再生のために必要な対策について補助等の支援策を講じること。
- 4 沿岸域から公海にかけて漂流している軽石については、漁船等、船舶の安全航行・安全操業を確保する観点から、国の責任において回収を行うこと。
- 5 漁船等、船舶の安全航行のため、軽石の最新の漂流状況を把握するとともに、継続してデータ解析及び漂流予測等を行い、これら結果等について、関係者に対し情報提供を行うこと。
- 6 沖縄県内漁業者の経営と生活を守るため、軽石の漂流・漂着に伴う漁業活動の自粛や漁船の損傷、養殖魚介類の斃死等による漁業経営への影響に対する支援策を講じること。
- 7 軽石の漂流・漂着に伴うマリンレジャー活動の中止等による観光事業への影響に対する支援策を講じること。
- 8 回収した軽石の安全性確認及び処分または活用方法に関する技術的支援を行うこと。
- 9 軽石の除却等について人員並びに資機材等の派遣支援を行うこと。

令和 3 年 11 月 2 日

沖縄県知事 玉城 デニー

沖縄県に漂着した軽石の分析結果について

令和3年11月4日(木)速報値

沖縄県 調査結果

- 採取場所：長浜ビーチ（読谷村長浜）
- 採取日：令和3年10月21日(木) 9:30頃
- 分析機関：沖縄県衛生環境研究所

(単位：mg/L)

	軽石 溶出試験結果	土壌環境基準 溶出基準
カドミウム	<0.0003	0.003
鉛	<0.002	0.01
六価クロム	<0.02 ^{注1)}	0.05
ヒ素	<0.002	0.01
総水銀	<0.0005	0.0005
アルキル水銀	<0.0005(不検出)	不検出
セレン	<0.002	0.01
フッ素	0.08	0.8
ホウ素	0.1	1

注1) 総クロムとして測定した結果

